

令和3年度 廃炉関連分野参入等に係る 従業員資格取得事業費助成金募集要領

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構は、福島県からの受託事業として、廃炉関連分野に係る業務を遂行するために必要な資格の取得を推進する県内事業者に対し、当該資格取得に要する経費の一定割合を助成します。

- 福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局に登録している事業者が対象です。
〈登録ご希望の方は、下記【お問い合わせ先】にご連絡ください。〉
- 申請をお考えの方は、事前にお問い合わせいただくとスムーズです。
- 資格取得に係る助成対象経費の全額を廃炉関連事業者が負担した場合に対象になります。資格取得後、申請いただく方式の助成金となりますが、提出された申請書及びその添付書類の内容を審査いたします。
※詳細は本要領を御確認ください。
- 助成率は3分の2、助成限度額は30万円/県内事業者・年度

【募集期間】

令和3年5月31日(月)～令和4年1月31日(月)午後5時まで

【助成対象となる資格及び要件等】

廃炉関連分野の従事に必要な国家資格、国家検定等であって、
令和3年5月31日(月)～令和4年1月31日(月)午後5時まで
の期間内で受験、検定、講習等に臨み、合格又は修了をもって資格を取得し、かつ、当該資格取得に要した経費の全額を廃炉関連事業者が負担していること。

【お問い合わせ先】

(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構
福島オフィス 産業集積部 廃炉関連産業集積課
〒960-8043 福島県福島市中町1番19号 中町ビル6階
TEL : 024-581-7046
E-mail : sangyou-syuuseki@fipo.or.jp

令和3年5月

(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構

目 次

I	目的	3
II	募集要件	5
	1 募集対象者等	
	2 助成金交付申請の募集期間及び要件	
	3 助成額	
	4 助成対象経費	
III	申請書類の提出	6
	1 募集期間	
	2 提出書類	
	3 提出方法	
IV	助成金交付に関する手続き	8
	1 審査・交付決定等	
	2 請求・助成金の支払い	
	3 交付決定の取消し等	
V	その他	10
VI	Q&A	10

I 目的

東京電力福島第一原子力発電所の廃炉関連分野^{※1}に参入又は受注拡大を目指す廃炉関連事業者^{※2}を助成金の交付によって支援する取組みを、福島県の委託を受け、福島イノベーション・コースト構想推進機構（以下「イノベ機構」という。）が実施する事業です。

廃炉関連分野に関する業務を遂行するために必要な資格の取得を推進する廃炉関連事業者に助成金を交付するものです。

【用語の解説】

- ※1 「廃炉関連分野」とは、別表第1に示す分野のことです。
- ※2 「廃炉関連事業者」とは、福島県内に事業所を置く法人格を有する事業者（特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）に基づき認証を受けた特定非営利活動法人を含む。）又はそれらの者で構成される団体であって、福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局に登録している事業者のことです。
- ※3 「資格取得」とは、廃炉関連事業者が廃炉関連分野の作業に必要な別表第2に例示する国家資格又は技術検定等を従業員に取得させることです。

別表第1 廃炉関連分野

廃炉関連分野とは、次の1及び2に掲げる事業分野のことです。

<p>1 「廃炉等積立金の取戻しに関する計画^{※4}」として実施される次の事業分野とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 汚染水対策 二 使用済燃料プール燃料取出し 三 燃料デブリ取出し 四 廃棄物対策 五 発電所敷地・労務環境改善 六 5/6号機対応 <p>2 前項各号以外で廃炉を進めるために必要な作業でNDF及び東電HDが廃炉等積立金の取戻しに関する計画に定め、実施する事業分野とする。</p>	<p>※4 「廃炉等積立金の取戻しに関する計画」とは、法律に基づき、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東電HD」という。）が、原子力損害賠償・廃炉等支援機構（以下「NDF」という。）と共同して作成する計画です。</p>
---	--

別表第2 助成対象資格（例示）

区 分	資 格
電気	（第1種、第2種、第3種）電気主任技術者 （第1種、第2種）電気工事士 （低圧、高圧）電気取扱者

放射線取扱等	(第1種、第2種、第3種)放射線取扱主任者
圧力容器取扱い	(特定、普通)第一種圧力容器取扱作業主任者
クレーン等	フォークリフト運転、クレーン・デリック運転、 移動式クレーン運転、揚貨装置運転、 床上装置式クレーン運転、巻上げ機運転、 高所作業車運転、玉掛け作業
溶接	溶接管理技術者、溶接作業指導者 アーク溶接、ガス溶接、 半自動溶接、ステンレス鋼溶接、 チタン溶接、プラスチック溶接、 銀ろう付、すみ肉溶接、 高張力鋼、鋼管、
危険有害作業等作業	有機溶剤作業主任、有機溶剤作業、鉛作業主任者 研削砥石取替試運転作業 酸素欠乏危険作業主任者、酸素欠乏危険作業 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 足場組立等作業主任者 刈払機取扱作業
指揮者・管理者	職長 安全衛生責任者 安全管理者、衛生管理者、雇用管理者、管理技術者、 作業指揮者、KYT トレーナー、RST トレーナー
検査	非破壊検査技術者
技能士	アルミニウム陽極酸化処理、金型製作、 機械加工、金属材料試験、金属熱処理、金属ばね製造、 金属プレス加工、金属溶解、配管、工場板金、仕上げ、 切削工具研削、鍛造、ダイカスト、鋳造、鉄工、 粉末冶金、放電加工、めっき、溶接、溶射、機械検査、 機械保全、機械・プラント製図、 空気圧装置組立て、光学機器製造、 電気機器組立て、電気製図、 電子回路接続、電子機器組立て、 半導体製品製造、プリント配線板製造、
管理技士 施工技士	管工事施工、電気工事施工、土木施工 解体工事、建設機械施工
その他	理事長が必要と認めるもの

Ⅱ 募集要件

1 募集対象者等

募集対象は、従業員の資格取得に要する助成対象経費を全額負担している福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局に登録している事業者（廃炉関連事業者）です。

【福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局についてご質問のある方】

事務局にご連絡ください。

○福島イノベーション・コースト構想推進機構 廃炉関連産業集積課内に事務局があります。

TEL：024-581-7046

E-mail:sangyou-syuuseki@fipo.or.jp

サポート事務局 HP：<https://hairo-matching.jp/>

2 助成金交付申請の募集期間及び要件

(1) 助成金交付申請の募集期間

- ・令和3年5月31日(月)～令和4年1月31日(金)午後5時まで
- ・募集期間中、各月末ごとに応募をまとめ、翌月の20日頃までに助成金の交付の採否の決定及び助成金の額の確定を行い、その結果を文書で申請者にお知らせします。

(2) 助成金交付申請の要件

- ・別表第2で示す資格であって、

令和3年5月31日(月)～令和4年1月31日(金)午後5時まで

この期間内で受験、検定、講習等に臨み、合格又は修了をもって資格を取得し、かつ、当該資格取得等に要した経費の全額を廃炉関連事業者が負担している（以下「交付対象事業として認められる実施期間内に完了する」という。）ことが要件です。

- ・なお、本事業において、資格取得者が国、県その他の機関、団体等から助成金の交付を受ける手続きをしている又は受領している場合は対象外となります。

3 助成額

(1) 助成金の額

助成金の額は、助成対象経費の3分の2以内の額とし、千円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとします。

(2) 助成金の交付限度額

助成金の交付は、廃炉関連事業者1事業者当たり、1会計年度上限30万円とします。ただし、予算の上限に達した場合、募集期間内であっても申請を締め切る場合があります。その際は、ホームページ等でお知らせします。

4 助成対象経費

助成金の交付対象経費は、別表第3の「対象経費の内容」に記されている経費で、交付対象事業として認められる実施期間内に完了したものであって、資格取得事業実施のための必要となる経費として明確に区別して経理されるものが対象となります。

別表第3 助成の対象経費及び助成額

対象経費の内容	助成額
1 受験料（教材費を含む。） 2 受講料（教材費を含む。） （講習を受講し、かつ、修了することにより資格を得られる講習、又は試験に合格した後資格を得るために受講が義務づけられている講習。） 3 資格の登録料 4 免許、修了証明書等交付手数料 5 その他理事長が認める経費	経費の 2/3 を助成する。

注 次に掲げるものに該当する経費は、助成対象経費とはなりません。

- 一 II・2・(2)に記載ある交付対象事業として認められる実施期間内に完了しなかった事業に係る経費

Ⅲ 申請書類の提出

申請書類の必要事項が記載されていない又は必要な添付書類がないといった場合には交付申請が認められない場合がありますので、ご注意ください。

1 募集期間

令和3年5月31日（月）～ 令和4年1月31日（金）※午後5時必着

- 募集期間中であっても、予算がなくなり次第募集を終了します。
- この期間中、随時募集を受け付けます。
- 各月末ごとに応募をまとめ、翌月の20日頃までに助成金交付決定の有無及び助成する場合の額を確定して、その結果を文書にて通知します。

2 提出書類

助成金交付申請書（様式第1号）^{※5}に次の書類を添付してイノベ機構理事長に提出してください。

- 一 資格取得経費を明らかにする書類（講習等実施機関が定める費用がわかるもの）
- 二 前記経費の支払いを証明する書類（領収書等）
- 三 資格取得を証明する書類の写し
- 四 資格取得者が福島県内の事業所に勤務している従業員であることの証明書
- 五 暴力団等反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書(様式A)

※5 申請書の名称
「廃炉関連分野参入等に係る従業員資格取得事業費助成金交付申請書」

なお、提出書類は返却しませんのでご注意ください。

3 提出方法

提出は次の宛先に必要書類を郵送してください。郵送時には、簡易書留を利用するなど、書類の送付記録が残る方法で提出してください。

申請後、必要に応じて修正を求めることがあります。書類の修正等について連絡することがありますので、都度ご対応ください。

(郵送先)

〒960-8043

福島県福島市中町1番19号 中町ビル6階

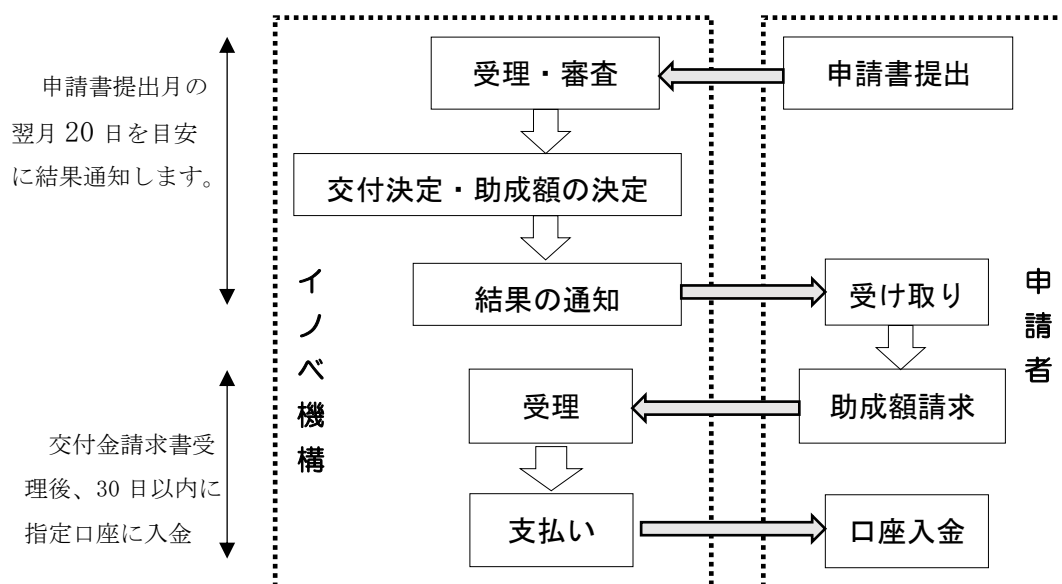
公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

産業集積部 廃炉関連産業集積課 宛

※封筒表面に「資格取得助成金申請書」と記載してください。

IV 助成金交付に関する手続き

申請書提出後の流れは下図のとおりです。



1 審査・交付決定等

(1) 助成金の審査

提出された申請書及びその添付書類の内容を審査の上、交付を決定しますので、申請書作成の際にご留意ください。なお、必要に応じて、現地調査等を行う場合があります。

- ア 廃炉関連分野進出の意欲（新規参入又は受注拡大に繋げる意欲があるか等）
- イ 資格取得の必要性（廃炉関連分野と本事業で取得する資格との関連性等）
- ウ 期待される効果（成果をもとに、ビジネスでどのように展開するか等）

(2) 交付決定・助成額の決定

ア 審査の結果、助成金を交付すべきものと認められた場合、認められた助成金の額を記入した交付（助成）決定通知書を送付します。

イ 審査の結果、助成金の交付が認められなかった場合、不交付決定通知書を送付します。

ウ 交付の決定又は不交付の決定の結果は、申請書受領月の翌月20日を目安に申請者に発送します（予定は別表4のとおりです。）。ただし、申請書に不備等がある場合は、その修正に要する期間を除きます。

別表第4 月末締め単位での交付決定及び額の確定日程

	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第8次
募集期間	5/31 ～6/30	7/1 ～7/31	8/1 ～8/31	9/1 ～9/30	10/1 ～10/31	11/1 ～11/30	12/1 ～12/28	1/4 ～1/31
交付決定等	7/20 (火)	8/20 (金)	9/17 (金)	10/20 (水)	11/19 (金)	12/20 (月)	1/20 (木)	2/18 (金)

※ 本事業の助成金は、助成金交付要綱に基づき助成事業者が実施した資格取得事業に対して支払われるものです。経費毎の積算、見積、根拠資料等について審査を行い、必要と認められた経費のみが助成金の交付決定額となります。よって、助成金の交付決定額は、必ずしも申請金額とは一致するものではありません。

2 請求・助成金の支払

(1) 助成金の交付請求

助成金の交付決定通知書(様式第4号)を受けた申請者は、速やかに「廃炉関連分野参入等に係る従業員資格取得事業費助成金交付請求書(様式第6号)」を理事長に提出してください。

(2) 助成金の支払い

助成金の交付請求書を受理したときは、30日以内に申請者が指定した口座に請求額を入金します。

3 交付決定の取消し等

(1) 申請者が次の一つに該当するときは、交付の決定の全部若しくは一部を取消し、又は既に交付した助成金の全部若しくは一部を返還していただきます。

ア 法令、福島県条例及び規則、本要綱に違反したとき

イ 当該助成金の申請内容に虚偽があったとき

ウ 申請者が、資格取得事業に関して不正、怠慢、その他不適当な行為をしたとき

(2) 助成金の返還は、助成金の受領の日から納付の日までの期間に応じて、年利10.95パーセントの割合で計算した加算金の納付が伴います。また、指定期日までに納付されない場合には延滞金を徴することになります。

(3) 交付決定及び助成額の確定によって生じる権利を第三者に譲渡し、又は継承

することは原則禁止されています。

V その他

- 1 助成金の交付申請や助成事業の実施については、交付要綱等を熟読して対応してください。
- 2 助成事業の対象とする経費に係る帳簿及び証拠書類は、助成事業の完了の日の属する年度の終了後5年間、機構の要求があった時は、いつでも閲覧に供せるよう保存しておいてください。会計検査院が実地検査に入る場合があります。
- 3 本事業において資格等を取得した場合、福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局が実施する広報活動及びヒアリング等に協力することといたします。

VI Q & A

- Q 1 : 放射線取扱主任者試験に昨年度合格し、これから資格講習を受講しようと思うが、どこまで補助対象となりますか。
- A 1 : 資格講習の実施が上記Ⅱの2(2)の募集期間内であれば、講習会費用は対象となりますが、試験費用は対象外となります。
- Q 2 : 資格更新のための講習費用も補助対象となりますか。
- A 2 : 対象となります。